

4. 肝がん

○

○: 専門とするがん △: グループ指定により対応しているがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり △: グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×: なし ○

	当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績(あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日							各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
	主な診療科名(5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	穿刺療法		TACE/TAE	放射線療法			ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容			
						RFA	PEIT		体外照射	定位放射線療法			治療内容	治療実績	医師の専門分野	
1	外科	11	2	状況 実績	○ あり	○ あり					肝癌の治療においては、肝動脈塞栓療法、経皮的ラジオ波凝固療法、肝切除手術など治療法の選択肢があるため、患者さん・家族の方に各々の治療法の長所・短所、治療成績を十分説明した上で治療方針を決定しています。	ア イ	一般外科 http://www.oph.gr.jp/medical/treatment/geka/ http://	掲載あり	掲載あり	掲載あり
2	消化器内科	17	4	状況 実績		○ あり	○ あり	○ あり	○ あり	○ あり	外科での肝切除術以外の肝癌治療である 経カテーテル治療(肝動脈塞栓術、放射線診断科にて)、経皮的治療(RFA、PEIT)、分子標的薬を用いた化学療法を行っております。腫瘍の状態により、放射線治療科で放射線治療(腫瘍、門脈腫瘍栓、下大静脈腫瘍栓などに対して)も行っております。また、肝癌の背景肝	ア イ	消化器内科 http://www.oph.gr.jp/medical/treatment/shoukaki/ http://	掲載あり	掲載あり	掲載あり
3	放射線診断科	4	4	状況 実績				○ あり			当科では肝がんに対して血管内治療(肝動脈化学塞栓療法)を行っています。	ア イ	放射線診断科 http://www.oph.gr.jp/medical/treatment/housha/ http://	掲載あり	掲載あり	掲載あり
4	放射線治療科	2	2	状況 実績						○ あり	肝癌の原発巣、血管内腫瘍栓、リンパ節転移、遠隔転移に対して、3次元放射線治療、定位放射線治療を施行しています。	ア イ	放射線治療科 http://www.oph.gr.jp/medical/treatment/housha-t/index.html http://	掲載あり	掲載あり	掲載あり
5				状況 実績								ア イ	http:// http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること	
---	--

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例: 肝がん 肝がん
------------------------------------	---------------